

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望書
回答書

競技本部	3通
教育本部	1通
総務本部	2通

期日: 2024年 6月 2日

場所: 練馬文化センター(小ホール)

2024年度



加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	49	団体名	三鷹市スキー連盟
団体長名	辻口 誠一 印		
種類	提案 (要望)	対象	総務 教育 (競技)
件名	公認大会の運営方法改善に関する検討結果の報告依頼		
理由	<p>昨年度の加盟団体長会議にてSAT公認大会の運営方法改善による選手負担の軽減策について、競技本部長より以下のようなご回答をいただいております。ご検討結果について、①試行の概要、②改善された点、③問題点や課題、④今後の方針を含む検討結果を具体的な検討過程(SAT理事会で検討したのか、競技本部で検討したのか、担当理事の個人的な判断か等)も含めてわかりやすくご報告をお願いいたします。 (以下、競技本部長の発言を議事録より抜粋)</p> <p>【議事録P19】 「主催者側によるビデオ撮影の導入。こちらは導入可能か検討いたします。…まずは台数は少ないかもしれませんが、ビデオを設置して、大会における撮影という形での試行を実施したいと思っております。(中略) 試行として行わせていただきまして、このビデオ導入に関する是非について検討してまいりたいと思っております。… 2番目、抗議要件から物的証拠を削除するという点についてですけれども、(中略)先ほどの1番目に戻りまして、ビデオ撮影の導入というところを検討してまいりますので、現時点では削除は出来ませんという意味で書かせていただきました。…ビデオ撮影の導入を検討する中で、物的証拠に関する是非について、こちらも今後の課題として進めてまいりたいと思っております。」</p> <p>【議事録P22】 「ビデオ撮影についてのところではございますけれども、先ほどの繰り返しになりますが、まずはビデオ撮影の試行をさせていただきたいと考えております。試行せずにビデオを全て購入して、万全の体制を組むというのも難しいと思っております。(中略) ビデオ撮影の試行をさせていただきまして、その結果をもって、その先のビデオ導入、そしてビデオ導入をすることにより、選手負担を軽減し、物的証拠に関するところについても検討課題として取り組んでいきたいと考えております。」</p>		

注：1件につき1枚ずつ使用のこと、必ず「理由」をお書きください。

黒のボールペン又は黒インクでお書きください。

提案・要望等提出用紙は、5月17日(金) 18時までに事務局宛にご送付ください。

住所〒102-0093 千代田区平河町1-4-15 平河小池ビル2F

FAXでも受付をしております。FAX03-3264-6540

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答

団体名No	49	団体名	三鷹市スキー連盟
種類	提案 要望	対象	競技
件名	公認大会の運営方法の改善方針の報告依頼		
担当部意見	競技本部長 山崎 智広		
<p>本件は昨年より継続してのご要望となります。経緯については割愛したうえで、回答いたします。</p> <p>1. 試行の概要 まず、前提として昨年の回答については競技本部内で検討されたものではなく、前本部長の個人的な見解であることをご理解下さい。前本部長辞任後、改めて競技本部内での検討し、競技会において安全面から定点的な撮影は不可能であること確認し、現状ではビデオ撮影は不可と判断し、ルールを遵守を徹底する方向にて対応としました。</p> <p>2. 改善された点 特に日本アルペン様の大会についての言及となりますが、スキー場、スキースクールが全面バックアップの大会となっていました。その中でも ①旗門員などもスキースクールスタッフが担当し、経験が少ない方には経験のあるスタッフが都度フォローに回っていた。 ②競技本部の専門員の参加を要請いただき、都連主催の大会と遜色のない運営となっていた。 ③抗議時の連絡ルートについても競技開始前に再確認されていた。 ことを確認しています。そのため一昨年発生した問題については解消されたと判断をしています。</p> <p>3. 問題点や課題 上記回答内容とも重なりますが、現状では問題点・課題は解消されたと判断します。新しい問題が発生した場合には、都度競技本部内で検討し改善に務めて行きます。</p> <p>4. 今後の方針を含む検討結果の過程について 本件は競技本部内での検討事項であり、あくまで昨年の回答は前本部長の個人的な見解であり、上記回答内容が改めて前本部長の辞任後、競技本部内で検討した結果となります。</p>			



2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	49	団体名	三鷹市スキー連盟					
団体長名	辻口 誠一						印	
種類	提案	要望	対象	総務	教育	競技		
件名	競技本部における赤字事業削減の要望							
理由								

(表1)過年度決算書によると直近2年の都連全体の収支と教育本部、競技本部の収支内訳は以下の通り。(ただし、若干の入り繰りはあるが調整は省略している)

(表2)大きな赤字が見込まれる競技本部行事の参加人数と行事損益は以下の通りであり、24年度はさらに赤字幅が拡大する予算が組まれている。

(要望)競技本部の赤字事業がSAT全体の収支に与える影響は大きく、会員数の減少に伴い教育本部の黒字が減少する中で、教育本部と競技本部の会員間の費用負担の公平性の観点からも、次年度以降は競技本部の行事集約や他県連との共催、行事参加費の値上げ等を通じ赤字事業の削減をお願いしたい。

表1

(単位：千円)

	2022年度決算				2023年度決算			
	収入	支出	損益	損益率	収入	支出	損益	損益率
SAT全体の経常損益	117,319	123,085	▲5,766	-4.9%	123,900	136,665	▲12,765	-10.3%
教育本部	38,069	26,454	▲11,615	30.5%	39,240	28,856	10,384	26.5%
スキー検定会	13,860	4,702	9,158	66.1%	13,851	5,213	8,638	62.4%
研修会・クリニック	19,015	14,992	4,023	21.2%	16,688	14,894	1,794	10.8%
競技大会	5,194	6,058	▲864	-16.6%	8,701	7,893	808	9.3%
選手強化		702	▲702			856	▲856	
競技本部	14,892	20,813	▲5,921	-39.8%	17,256	25,614	▲8,358	-48.4%
競技大会	13,881	15,879	▲1,998	-14.4%	16,226	21,068	▲4,842	-29.8%
選手強化	1,011	4,934	▲3,923	-388.0%	1,030	4,546	▲3,516	-341.4%

表2

(単位：人・千円)

	2022年度決算				2023年度決算				24年度予算
	参加人数			損益	参加人数			損益	損益
	計画	実績	予実		計画	実績	予実		
大会									
南関ブロックユースよませ					250	78	31.2%	▲1,307	▲975
選手強化									
アルペン雪上トレーニング	200	57	28.5%	▲1,866	180	130	72.2%	▲290	▲2,003
アルペン陸上トレーニング	180	77	42.8%	▲526	170	95	55.9%	▲645	▲1,144
フリースタイル雪上強化合宿	20	10	50.0%	▲86	20	6	30.0%	▲126	▲280
国民体育大会強化合宿	215	96	44.7%	▲772	165	103	62.4%	▲885	▲2,057

注：1件につき1枚ずつ使用のこと、必ず「理由」をお書きください。

黒のボールペン又は黒インクでお書きください。

提案・要望等提出用紙は、5月17日(金)18時までに事務局宛にご送付ください。

住所〒102-0093 千代田区平河町1-4-15 平河小池ビル2F

FAXでも受付をしております。FAX03-3264-6540

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答

団体名No	49	団体名	三鷹市スキー連盟
種類	提案 (要望)	対象	競技
件名	競技本部における赤字事業削減の要望		
担当部意見	競技本部長 山崎 智広		
<p>ご指摘の点については、競技本部としても急ぎ検討していかなければならない問題と考えております。普及の観点からするとジュニア行事など削減が難しい部分もありますが、</p> <p>①削減できるものは削減 ②助成金の活用 ③他県連との協力</p> <p>など、検討し費用削減に務めることを最優先に検討していきます。</p>			



2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	158	団体名	練馬区スキー協会
団体長名	大野 正次		
種類	提案 <input checked="" type="checkbox"/> 要望	対象	総務 <input checked="" type="checkbox"/> 教育 <input checked="" type="checkbox"/> 競技 <input checked="" type="checkbox"/>
件名	競技会での年齢別組み分けを100歳まで細分化		
理由	選手年齢区分の公平性のため		
<p>クラブ対抗競技会、オープンマスターズ等、年齢別組み分けがなされている競技会において、現在は80才迄は細分化されているが、それ以上は同一組になっている。</p> <p>80歳を超えても継続的に選手活動を行う選手を公平に扱っていただきたい。</p> <p>80才と85才、あるいは90才では大きく体力が異なる。</p> <p>選手の意欲を高め生涯スポーツとしてのスキーをさらに発展させるため、選手の目標となる100歳まで、細分化していただきたい。</p>			

黒のボールペン又は黒インクでお書きください。

提案・要望等提出用紙は、5月17日(金)18時までに事務局宛にご送付ください。

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答

団体No	158	団体名	練馬区スキー協会
種類	提案 (要望)	対象	競技
件名	競技会での年齢別組み分けを100歳までの細分化		
担当部意見	競技本部長 山崎 智広		
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>他の競技会の状況も確認しつつ、安全面の問題も考慮に入れながら、検討したいと思います。</p>			

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	158	団体名	練馬区スキー協会
団体長名	大野 正次		
種類	提案	要望	対象 総務 教育 競技
件名	競技会での年齢別組み分けを100歳まで細分化		
理由	選手年齢区分の公平性のため		
<p>クラブ対抗競技会、オープンマスターズ等、年齢別組み分けがなされている競技会において、現在は80才迄は細分化されているが、それ以上は同一組になっている。</p> <p>80歳を超えても継続的に選手活動を行う選手を公平に扱っていただきたい。</p> <p>80才と85才、あるいは90才では大きく体力が異なる。</p> <p>選手の意欲を高め生涯スポーツとしてのスキーをさらに発展させるため、選手の目標となる100歳まで、細分化していただきたい。</p>			

黒のボールペン又は黒インクでお書きください。

提案・要望等提出用紙は、5月17日(金) 18時までに事務局宛にご送付ください。

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答書

団体No	158	団体名	練馬区スキー協会
団体長名	大野 正次		
種類	提案 (要望)	対象	総務 (教育) 競技
件名	競技会での年齢別組み分けを100歳まで細分化		
回答本部	教育本部		
<p>マスタース技術選の80歳以上の組別を5歳ごとに組別を分けることについては検討をいたします。ただし事故・怪我等を考慮した場合に90歳以上の組はかなり熟慮が必要と思われます。</p>			

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	294	団体名	ボンスキークラブ
団体長名	木津川 通 玲		
種類	提案	要望	対象
件名	クラブの存続要件変更に関する件		
理由	高齢化とスキー人口減少に対応し、有資格者の資格維持を継続できるようにするため。		
<p>スキークラブ員の高齢化のため、会員減少は著しく、本加盟団体の会員数要件が15名に緩和されたことへの対応を待てぬであり、配慮を求めたい旨を謝意を表明したい所です。これより15名を割る場合は退会せざるを得ない旨の有資格者は、資格の維持が難しくなる。(他会員の転籍は若人と同じくらい多いこと等も考慮する)</p> <p>若連の会員に継続しない者を無理矢理退会させるのではなく、会員に増補(若い方)、これを2名以上、若連の12名をクラブに解散に追い込むのではなく存続できるようにする</p> <p>これより入会要件と存続要件を別にする事を提案する</p> <p>入会要件としては15名以上の会員以外に上記と</p> <p>存続要件としては2名以上の有資格者が必要、若連の年費最低額(15名分の額とする)を定期的に納入する。</p> <p>これより15名以上の有資格者を確保することにより、会費の増補が容易に</p> <p>会費を定め、15名分の最低額とし、これを越える加盟団体は毎年増える人数につき(各々)1000円を加盟額とする。</p> <p>以上より若連の歳入を無理に支持はしない旨を述べたい。</p>			

注：1件につき1枚ずつ使用のこと、必ず「理由」をお書きください。
 黒のボールペン又は黒インクでお書きください。
 要望・提案等提出用紙は、5月17日(土)18時まで事務局宛にご送付ください。
 住所〒102-0093 千代田区平河町1-4-15 平河小池ビル2F
 FAXでも受付をしております。FAX03-3264-6540

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答書

団体No	295	団体名	ドンスキークラブ			
団体長名	木津川 迪洽					
種類	提案	要望	対象	総務	教育	競技
件名	クラブの存続要件変更に関する件					
回答本部	総務本部					
<p>現在、加盟団体に関する規則の改正は2022年(令和4年)7月23日に開催された臨時評議会にて、第2章加盟団体、第2条加盟申請の登録会員が15名以上と改正しました。改正に際しいろいろなお意見をいただきました。改正から2年が経過して、今回このような提案が提出されました。加盟団体継続の為、登録会員の人数を確保するのに苦慮している団体も見受けられます。他の加盟団体の方のご意見を伺って、検討をしたいと思えます。</p>						

が



2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等 提出様式

団体No	502	団体名	Z スキークラブ		
団体長名	梅原 久		(梅)		
種類	提案 (要望)	対象	(総務)	教育	競技
件名	加盟団体負担金の値下げ				
理由	クラブ員の負担軽減				

登録クラブ員の最少人数を20名から15名に減らしていただいた事は大変喜ばしい事ですが、減った人数で加盟団体負担金(4万円)を負担しなくてはならず、当クラブとしてはかなり厳しい状態です。

クラブ員個人でインターネットによる登録手数料、参加行事のデジエントリー等の手数料と負担が大きくなっていく事から、クラブ年会費の値上げは必ずしも厳しい状態です。

そこで、最少人数の登録クラブの加盟団体負担金を値下げしていただけないでしょうか、ご検討よろしくお願ひ致します。

注：1件につき1枚ずつ使用のこと、必ず「理由」をお書きください。

黒のボールペン又は黒インクでお書きください。

提案・要望等提出用紙は、5月17日(金) 18時までに事務局宛にご送付ください。

〒100-0002 千代田区平河町1-4-15 平河小池ビル2F

2024年度

加盟団体長会議 提案・要望等回答書

団体No	502	団体名	Zスキークラブ			
団体長名	梅原 久					
種類	提案	要望	対象	総務	教育	競技
件名	加盟団体負担金の値下げ					
回答本部	総務本部					

加盟負担金の減額ですが、減額をした場合に収入減となり都連の収入予算に影響があります。不足分を補う為には、行事参加費及び会員費等の値上げも考えなければなりません。

また、減額を行う場合は一律にするか、会員数で行うか、大変難しいことだと思います。団体の負担を少なくして、団体存続の道を模索しなければなりません。それには加盟団体様ならびに評議員様のご意見等も伺って、方向性を模索したと思います。